

【自己診断シート】

株式市場がどこにあるのかということと、そこで行われている取引について、興味関心を引き出すことを目的とした設問です。設問2では、オークション形式で行われている売買取引がどのようなものか、ルールがあるということを知り、学習へと進むことを想定しています。

Aの解説：

株式市場を有する証券取引所は札幌・東京・名古屋・福岡の4箇所にあります。企業が集中する大都市にありますが、全都道府県にあるわけではありません。

Bの解説：

テレビのニュースなどで、よく証券取引所が登場しますが、そこに直接注文できるのかどうかを考えさせます。証券会社が注文の委託を受けていることを後で学ぶための設問です。

Cの解説：

株価はオークション方式で決められます。しかし「オークション」という語句の一般的なイメージは“競り”であるため、株式市場のオークション方式とは多少イメージが異なります。この設問では、売買取引にルールがあることに気付かせるのを目的としています。

Dの解説：

上場するには健全な経営状況や組織体制であるか、厳しく審査を受けますので、信頼性もありますが、上場企業であっても、環境の変化などで経営が赤字になり、倒産することはあります。上場している＝倒産しないという保証ではありません。

設問2の解答と解説：

【解答】 B

設問1のCのオークション方式の説明として正しいものを選ぶ問題です。Aは「高い→安い」、Cは「安い→高い」なら正解です。売買注文を成立させる際の優先順位は「価格」に次いで「時間」が優先されます。

【確認テスト】

【解答】 1：B 2：B 3：C

【解説】

1：発行市場は、新たに株式を公開する会社の株式や、すでに株式公開している会社がさらに株式を発行する市場です。一方、流通市場はすでに発行された株式を投資家が売買する市場です。

2：一般の人が株式を売買するときは、証券会社に注文を出します。証券会社はその注文を証券取引所に送り、証券取引所が売買を成立させます。

3：上場は「（株式）市場に上がる」という意味からきています。